Smile God Loves You

長崎南山小学校 学校生活だより2月号

南山っ子通信

No. 132　　2024.2.20　担当：宗

四旬節

教会では２月14日の『灰の水曜日』から『四旬節』が始まりました。四旬節とは40日間のことで、この期間に特にイエス様の御受難と御死去を黙想しながら祈りと回心、節制に努め、清い心で復活祭を迎えることができるように準備します。

小学生には、「お祈り」「がまん」「愛の行い」などの言葉でその心の持ち方を伝えたりします。

それらに通じる『愛徳』と『努力』は本校の校訓でもあります。学校でも、１年間をふりかえり、今年度のまとめと新年度の準備を行っていく期間となりました。中学校に巣立とうとしている6年生、そして、進級のときを迎えようとしている在校生、それぞれにとって充実した3月となるように、一日一日、一つ一つのことを大切にしていきたいと思います。

♪聖歌「Walk in the light 」

自由になって 光の中を 一つになって 歩いてゆこう
※Walk in the light　Walk in the light
　Walk in the light　Walk in light of the Load.
イエスの十字架 カルワリの丘 悲しむ人の救いのために
※Walk in the light　Walk in the light
　Walk in the light　Walk in light of the Load.

子どもたちが大好きな聖歌の一つです。

“Walk in the light”の歌詞になると、ますます元気よく歌っています。神様の愛に満ちた道、その光の中を歩いてゆこうと歌います。日々の暮らしの中では、うれしいこともありますが心配なことや困ってしまうこともあります。それでも、必ず助け合うことのできる人との出会いがあります。みんなに元気よく光の中を歩んでほしいと祈っています。

学習発表会

発表会前には、小道具らしきものを持って登校する子も目立つようになりました。「それは何かな」とたずねると、「学習発表会で使うよ」とうれしそうに教えてくれたり、「おたのしみ」と言いながらにっこりと笑ったりしている子がいました。そのような子どもたちと話すたびに、本番がどんどん楽しみになってきました。

あるとき、練習を見せてくれたクラスに「みんなで協力し合っていてすごいね」と言うと「でしょう。でしょう」とクラスの団結力を誇る姿も見られました。様々なクラスで子どもたちと先生とで楽しそうに道具を作ったり発表の方法を相談したりしている活気のある様子が伝わってきています。

学習発表会は、学年の終わりにクラスの仲間との絆がぐっと深まるときでもあります。また、これまで培った学習の力を発揮したり、自分自身や友達の新たな力に気付く機会となったりします。おうちの方に見ていただけるという思いも大きな原動力となっています。

今年は、配信や分散ではなく、会場においでいただく従来の形で学習発表会を行うことができるようになりました。

いよいよ本番は2月22日（木）です。お渡ししたプログラムをご覧になり、会場でご一緒にお楽しみください。

「世界こども助け合いの日・献金」へのご協力ありがとうございました

１月の最終日曜日は「世界こども助け合いの日」でした。

これは、子どもたちが自分の幸せだけではなく世界中の子どもたちの幸せを祈ることができるよう成長することを願って制定されたそうです。子ども同士の助け合いとして、好きな物を買うことを我慢して貯めたりお小遣いの中から献金したりすることが勧められています。これまで、南山小学校でも毎年ご協力をお願いしてきました。

今年もたくさんのご協力をいただき、120,526円もの献金をお預かりしました。先日、カトリックセンターに届けさせていただきました。この日の献金は全世界からローマ教皇庁に送られ、世界各地の恵まれない子どもたちのために使われます。

共同祈願

ごミサの「共同祈願」で、どのような祈りを捧げているかを紹介したいと思います。先唱の祈りの言葉に続けて「神よ。私たちの祈りを聞き入れてください」と唱和し、心を合わせて祈ります。先唱はクラスごとに順番が回ってくることになっています。

★私たちのお母さんのために祈ります。家の仕事や私たちのお世話で毎日忙しいお母さんが、これからも健康に恵まれ、神様に見守られて、いつも幸せでありますように。（母の日）

★能登半島地震で亡くなられた方、家族を亡くした方、けがをしたり帰る家を失ったりした方々のために祈ります。神様のお恵みの中で、心と体の傷がいやされ、一日も早く、安心した生活を送ることができますように。

★世界中には、今、この瞬間にも戦争のために苦しんでいる人たちがいます。武力によらない解決の道が開かれ、世界中の子どもたちが、大切な家族と共に平和に生活することができますように。

★6年生の卒業まで残り一ヶ月となりました。六年生が、残りの小学校生活を楽しく過ごし、よい思い出を作ることができますように。そして、私たち5年生も最高学年のとなるよい準備をすることができますように。

このように、そのときの出来事に目と心を向けて共同祈願を捧げています。

❀南山小学校では「ひとりのとき、祈ることのできる子どもに育てる宗教教育」を目指しています。

朝のご聖体訪問では「ありがとう」「ごめんなさい」「お願いします（～さんが元気になりますようになど）」というようなお祈りをしているようです。そのような祈りを通して、心の中が整えられていくようにも思います。これまでを振り返ったりこれから新たにどのように進むのかを考えたりすることができます。祈ることが生きる力につながることを感じることができれば、生涯にわたって、大切なことを子どもたちに贈り物としてお渡しすることができるのではないかと考えています。

小学校の6年間、南山ファミリーのみんなを互いに大切にしあいながら、たくさんの愛を注いでいきましょう。